

古代東アジア情勢と白村江の戦い その後の行方を探る!

講師
東洋大学文学部史学科教授

もり きみゆき
森 公章



2024年 7月 27日 土
13:30 ~ 16:30

会場
日高市総合福祉センター「高麗の郷」
1F研修室

新型コロナウイルス感染
予防にご協力ください。

- 13:00 受付
- 13:30 開会 主催者あいさつ
- 13:45 講演 「白村江戦余滴
～亡命百濟人・高句麗人の到来とその行方～」
講師 森 公章 (東洋大学文学部教授)
- 15:15 休憩
- 15:30 トークセッション
「古代東アジア情勢と白村江の戦い、その後の行方を探る！」
講師 森 公章
コーディネーター 中野高行 (大東文化大学講師)
コメンテーター 荒井秀規 (日本高麗浪漫学会副会長)
- 16:30 閉会

- 定員 100名 (申し込み先着順)
- 参加費 (資料代等) 高麗1300会員 500円 一般 1,000円
- 申込み 6月10日(月)10:00より高麗1300へ次の①～④のいずれかで。先着順に受け付けます(お名前・連絡先・住所等)。
① ホームページ <http://komagun.jp> トピックス記事「申込みフォーム」から
② E-mail info@komagun.jp
③ 電話 042-978-7432 (不在の場合あり)
④ FAX 042-978-7452

主催：高麗1300 / 日本高麗浪漫学会 後援：日高市教育委員会
企画：日本高麗浪漫学会企画運営委員会

はくそんこう (はくすきのえ)
白村江の戦い



白馬江を見下ろすようにそびえたつ絶壁「落花岩 (ナックアム)」=左。百濟滅亡の日、百濟の女性たちは忠誠と節義を守るためにここで身を投げたという言い伝えが残る

復興を願う百濟の救済に向かった倭軍は、新羅と連合する唐の水軍と白村江で2日にわたる海戦のすえ大敗。百濟は滅びました。以後、倭国は金田城、大野城、基肄城、高安城など朝鮮式の山城

を築き、大宰府には水城を造り、烽火(狼煙の施設)や防人を設置するなど、守りを固めました。

白村江の戦いのあと、多くの百濟と高句麗の遺民が日本に渡ってきました。

百濟滅亡 660年 白村江の戦い 663年 高句麗滅亡 668年



講師：森 公章 (もり きみゆき)

東京大学大学院博士課程単位取得退学、博士(文学)。奈良国立文化財研究所文部次官・主任研究官、高知大学人文学部助教授を経て、2001年から東洋大学文学部教授。専門は日本古代史。著書『遣唐使と古代対外関係の行方』『倭国の政治体制と対外関係』(吉川弘文館)、『地方豪族の世界』(筑摩書房)など。

講師よりメッセージ

講演「白村江戦余滴 ～亡命百濟人・

高句麗人の到来とその行方～」について

660年百濟が唐・新羅連合軍により滅亡すると、倭国は百濟復興運動を支援して派兵しますが、663年白村江の戦いで大敗、百濟人の拠点も壊滅します。さらに668年には高句麗も滅亡、半島では新羅と唐の戦争が始まり、676年頃には新羅の半島統一となり、東アジアの地図は大きく塗り替えられます。

今回はまず白村江の戦い後の倭軍の撤退と亡命百濟人の到来について検討し、亡命百濟人の倭国・日本での活動を考えた上で、それを参照しながら、亡命高句麗人の動向や位置づけなどについて考察したいと考えています。

【会場までの交通案内】

日高市総合福祉センター「高麗の郷」

埼玉県日高市榎木(にれぎ) 201 ☎042-985-9988

- ・JR八高線 川越線 高麗川駅より徒歩約15分
- ・高麗川駅から国際興業バス「飯能駅行」に乗車、「総合福祉センター前」下車
- ・お車の場合、無料駐車場あり
※臨時駐車場をご利用いただく場合があります

【お問い合わせ】 高麗1300 (日本高麗浪漫学会) 事務局 ☎042-978-7432

〒350-1243 埼玉県日高市新堀 855-3

E-mail info@komagun.jp

ホームページ http://komagun.jp

